

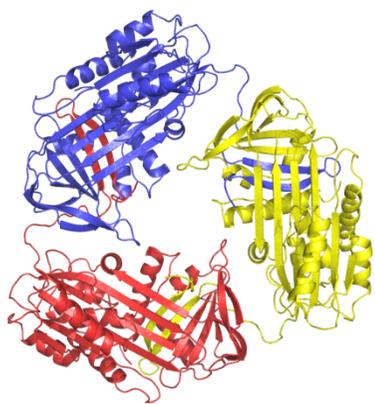
# 第16回生命科学セミナー・第156回細胞生物学セミナー

演者：山崎 正幸 先生  
(京都大学次世代研究者育成センター・白眉プロジェクト特定准教授)

日時：2012年2月21日(火)16:00~17:00

場所：京都産業大学総合生命科学部15号館1階 15102セミナー室  
<http://www.kyoto-su.ac.jp/access.html>

演題： $\alpha_1$ -Antitrypsinの小胞体内における凝集、フォールディングについて考える



分子間フォールディングによるポリマー化

欧米で2000人に1人が抱えるアンチトリプシン欠損症という病気があります。主な症状は若年性肝硬変、肺気腫です。その原因となるアンチトリプシン凝集体の形成メカニズムを解明すること、それが私の英国ケンブリッジ大学での仕事でした。結果、20年来の定説を覆す成果を得る事に成功すると共に、タンパク質凝集メカニズムとその疾患に関し新たな概念を発見しました。その5年間を振り返りながら、アンチトリプシンが小胞体内でどのようにタンパク質構造を完成するのかについても考えたいと思います。

世話人：京都産業大学総合生命科学部 永田 和宏(075-705-3134)